

海外安全対策情報
(2023年7月～9月)

在オークランド日本国総領事館

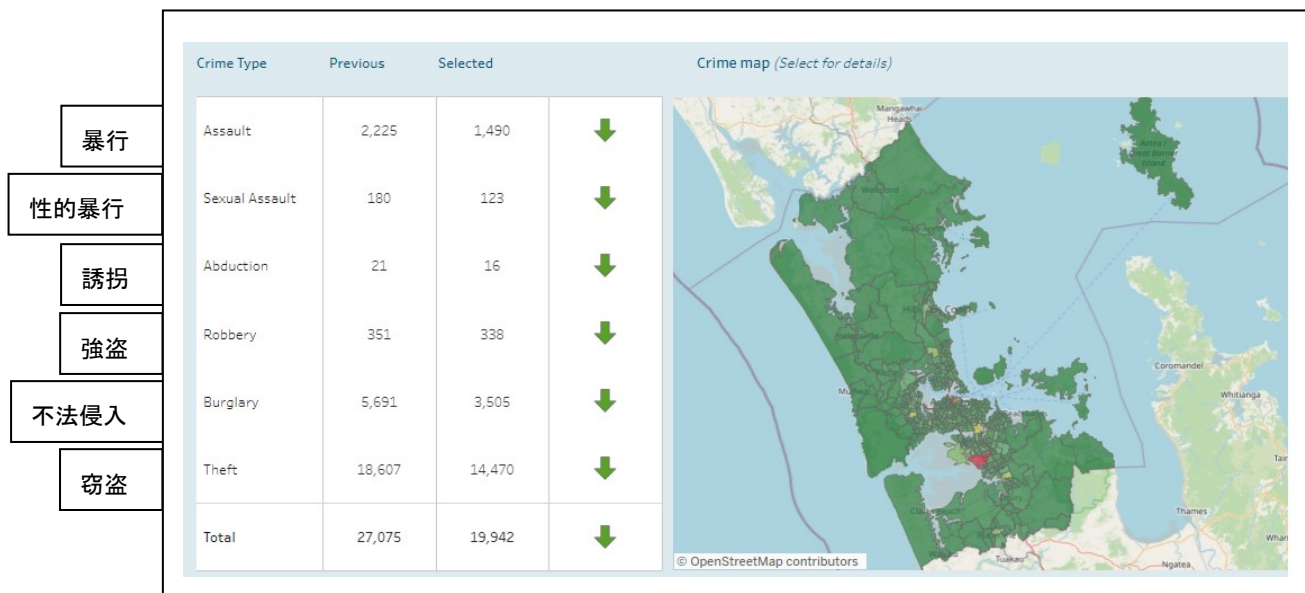
1 治安情勢・一般犯罪の傾向

(1) 一般治安関係

NZでは、強盗(店舗に自動車で突っ込み強奪する「ラムレイド」を含む)や侵入窃盗(空き巣など)、車上ねらいや繁華街での暴行事件が多く発生しているため、防犯対策には十分な注意が必要です。また、犯罪組織(いわゆるギャング)の抗争もしばしば勃発しており、これらに巻き込まれることのないよう、繁華街等では特に注意してください。また、電話等でお金を騙し取る特殊詐欺が多発していることから、不審な電話等には十分に注意してください。このほか、NZ国内では覚醒剤(メタンフェタミン)等の薬物組織犯罪が社会問題化していますので、留意してください。

(2) オークランドの犯罪傾向

2023年7月～2023年9月のオークランド市の犯罪傾向についてオークランド警察は次の通り発表しています。



(3) 最近の犯罪等

詳細はニュージーランド警察 HP をご覧ください。

<https://www.police.govt.nz/news/districts>

ア オンライン詐欺

- 7月19日、中国人留学生を標的にした詐欺事件が3件報告された。Wechat や WhatsApp 等の SNS アプリを利用して家族などが犯罪に巻き込まれたとの連絡をし、海外口座に多額の送金を要求する手法で数十万ドルの被害などが発生した。

イ その他の犯罪

- 7月3日付 NZ ヘラルド紙は、コロンビア、チリ、ペルー、アルゼンチンといった南米諸国から、虚偽の就労ビザや永住権取得に基づき NZ に入国する事案が増加している旨報じた。被害者救済会の代表者によると、今年当初より仕事を斡旋してもらい永住権を取得できると騙され、多額の借金をして NZ に入国した南米人は約 250 人いる。現在も、南米諸国から、100 人規模で NZ への入国を目指している可能性があるとされている。
- 7月12日以降2か月にわたり、ロトルア市で偽札が出回った。\$10, \$20, \$50 紙幣を製造する設備が押収され、2人が逮捕された。
- 7月20日朝、オークランド市中心部の工事中のビルで発砲事件が起きた。多数の武装警官等が出動し、現場一帯が封鎖された。工事現場で働く男性2人が犠牲となり犯人は自死した。警官を含む数人が負傷した。
- 9月18日、オークランド市北部のバス停で発砲事件があり、1人が死亡、1名の男性が逮捕された。

ウ 日本人が巻き込まれた案件

- ワイカト地方及びオークランド市内において、死傷者を含む邦人の交通事故等が発生した。
- オークランド市内において、路上でのひったくりや宿泊先や勤務先レストランの従業員の荷物を保管している部屋での空き巣被害により、パスポートを含む盗難被害等が複数発生した。

2 テロ・爆弾事件発生状況

現在、ニュージーランドのテロ脅威度は、下から二番目の低(Low)となっています。

[参考：テロ脅威度評価]

Likelihood assessment	Threat level
Terrorist attack is expected	EXTREME
Terrorist attack is assessed as highly likely	HIGH
Terrorist attack is assessed as feasible and could well occur	MEDIUM
Terrorist attack is assessed as a realistic possibility	LOW
Terrorist attack is assessed as unlikely	VERY LOW

3 日本企業の安全に関する諸問題

特に認知されておりません。

以上